



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

## THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

# CENTENNIAL

JUNE 1991. vol.12

The Service Club to the YMCA

Chartered September 25, 1982

### MOTTO (1990~1991)

I P Individual effort makes the difference.  
 A P Think Globally, Act Locally.  
 RG DG One Step for the Future.  
 C P

個々の相異で輝く業を  
 地球規模の発想でローカルな実践を  
 未来に向かって一歩  
 活気ある協力に生きよう

### 今月の強調テーマ = 『一年の評価と次年度への計画』

#### 6月の聖句

しかし、みたまの実は愛、喜び、平和、寛容、  
 慈愛、善意、忠実、柔和、自制であって、これらを  
 否定する律法はない。

[ガラテア人への手紙; 5章22~23節]

#### ワイズメンズクラブ・モットー

"To acknowledge the duty that accompanies  
 every right"

強い義務感を持つよう  
 義務は全ての権利に伴う

#### 6月第1例会 (中西部長公式訪問)

日時 1991年6月19日(水) 6:30~8:30 p.m.

会場 YMCA国際社会奉仕センター

司会 三浦直之君

1. 開会点鐘 : 福永嘉彦会長
2. ワイズソング : 一同
3. 聖句朗読 : 柴田健君
4. ゲスト紹介 : 福永会長
5. 日々の糧及び黙禱 : 一同
6. 晩餐 : 一同
7. 竹広稔氏入会式 : 福永会長  
岸川真二氏入会式 : 福永会長
8. 新旧会長交代式
9. 中西部長メッセージ : 山田孝彦中西部長
10. 中西部各事業主査紹介 : 山田中西部長
11. 報告「ハワイ・ブラザークラブ訪問」  
: 谷川寛君
12. お誕生祝い
13. ニコニコ献金 : ドライバー
14. 役員会・委員会報告、YMCAニュース
15. 閉会点鐘 : 福永会長

#### 5月出席状況

会員数 = 36名

第1例会出席会員=10名

ゲスト=1名, メネット=5名

第2例会出席会員=12名

(内MU=5名)

ゲスト=2名, メネット=2名

※ 出席率=42% (前月=67%)

#### Happy Birthday to following people .....

6月お誕生の方々 鈴木メネット: 4日  
 横山君: 13日, 平田メネット: 20日  
 平田君: 25日, 黒田メネット: 26日  
 中堂君: 26日, 津田葉メネット: 28日

先月誕生祝をしていませんので合同で行います。

5月お誕生の方々 隅田君: 3日  
 杉浦君: 8日, 秋月君: 8日  
 藤山君: 13日, 川越メネット: 14日

## 一泊懇親会 (5月第1例会) 報告

黒田 巖之

去る5月11～12の両日、センテニアル恒例の一泊懇親会が開かれた。今年は趣向を変えて、堀利満君のお世話で、近江八幡国民休暇村に繰り出し一泊、翌日は小雨のそぼ降る中を、水郷巡りの船遊びと洒落こんだがこれが大悲劇になろうとは誰も予想できない事だった。

第一日は、午後5時集合、但し不便な所で定期バスは早々に切り上げられてしまい、ほぼ全員が揃って夕食のご馳走にありついたのは7時半、それでも一同は海の幸湖の幸、山の幸に彩られた会席料理に舌鼓を打つことしきり。．．．9時、宿舎3階の一室でワイズソングを歌って例会を開始、三浦君の司会、会長挨拶、黒田君の卓話は中国旅行の土産話。その後はフリーな形で懇談のひとつき（これがまた何とも楽しいハイライトの時間であったが）を過ごし、12時前散会。

懇談会ではそれこそ話題百出、黒田君の中国旅行体験談中、ドアのないトイレの話が出、微妙な所迄落ちる話（上品なセンテニアル？にしては珍しく）になったり、戦時中、大丸社員として中国に滞在された鈴木君ご夫妻の苦労話なども披露された。鈴木君ご持参の「文部省選定唱歌集」で昔懐かしい歌が紹介されたが、知っている年代層は3分の2程度だったか。．．．

翌日は雨、誰の精進が悪いのか追求されずに終わったが福永、佐藤、三浦三君の車に分乗し水郷めぐりの乗船場に到着した。一同は形ばかりの屋形船に乗船し、その昔近江商人が荷を運んだという琵琶湖に通じる運河を、竿と櫓でギッチラ、ギッチラコと風流人を決めこんだ。

葦の繁みの中で「よしきり」がしきりに鳴き、処々に鷺が一本脚で休んでいる等、中々風情のある「舟行き」であった。とはいうものの、櫓で漕ぐと小舟は左右に揺れ、私や佐藤メネットが最初に船酔いになりかけた。

しかし、何と云っても大変だったのは、船の中程に座られた山村メネットだった。半透明なビニールシートに覆われた状態では、遠景を眺めて気を逸らす事もままならず、その上寒さも加わってすっかり体調を崩され、上陸後も乗船場の床几に倒れ伏して居られたが、どんなにつらく、苦しかったかをお察しすると今思い出しても同情を禁じ得ない。

その後（湯浅君の会社が建設された）厚生年金会館で昼食を済ませ、車に分乗して流れ解散。私は佐藤君に乘せて頂き、車の姿が殆ど見られない湖岸道路を快走、琵琶湖大橋から途中越えて京都の自宅まで、ドライブを楽しませて頂いたのであった。

今月の当番（会場準備、受付、後片付け等宜しく）  
第5班：中村君、柴田君、中堂君、三浦君、秋月君

## 5月第2例会協議事項

### 1. 6月例会内容を協議

1ページに記載の通り中西部長公式訪問例会とし、併せて竹広稔氏、岸川真二氏の入会式を行う。

### 2. 7月例会プログラム

新会長の方針と各事業委員長の抱負を述べて頂く。

### 3. 日本区大会参加について最終打合わせ

### 4. 香港におけるトライアングルミーティング

連絡担当の谷川君によるとトライアングルミーティングは、ボヒニアクラブのホストで8月3日（土）の夕方開かれる。その翌日はハワイのヌアヌクラブとセンテニアルが合同ホストとなって、ボヒニアクラブを招く。今回の香港行は8月2日大阪発、8月5日（月）帰国という日程で（香港での会費等を除いて）費用は航空運賃とホテル代で計約10万円の予定。

### 5. アジア大会

来る9月、後記の通り開催。大阪クラブから大挙参加の模様で、当クラブからの参加もお勧めする。

### 6. 中西部会

山田孝彦中西部長が招集される、次年度中西部会が9月14日（土）大阪天満橋キャッスルホテルで開催される。キーノートスピーチとして「湾岸戦争後の中東問題」を、日本YMCA同盟宮崎幸雄総主事からお話し頂く。エンターテインメントは村山清美さんによるシャンソンの予定。

### 7. 第4回ワイズ担当主事懇談会報告（岸川主事）

ワイズ会員の増強と若返りが中心議題で、YMCAのリーダーOBや、子供をYの教室に参加させている父兄に呼び掛ける。その際、ワイズへの入会の意義を明確に説明するのが望ましいとのことのお話であった。

【次回（第5回）は10月15日の予定】

### 8. 藤原正巳、河野正義両会員の取扱いについて

転勤のため例会に出られない香港：藤原君と四国：河野君については、日本区理事に「地方会員」として申請、当クラブの会費は年会費の半額とする。

### 9. メネット会員の件昨年12月に逝去された故森庄司会員のメネット晴美さんは、メネット会員として私達のクラブ集会に参加を希望して居られるので、ご案内（プレティンその他）をお届けし、ワイズダムを通して結ばれた友愛関係を続けさせて頂く。但し、年会費1万円、又、例会に出席された場合は、他のメネットと同様に1回につき1千円頂戴することにする。

### 10. 4月末現在の財政報告（佐藤会計）

併せて“安全の日”キャンペーンに2万円、留學生援助に（CS活動）15万円をYMCAに贈る等の報告があった。

## メネット会報告

福永 滋子

5月18日、韓国大邱、ソウルYMCA女声合唱団と中西部、阪和部メネットとの交歓会に私達のクラブから4名(隅田、平田、山村、福永)の方が参加しました。

メネットの皆さんが拍手しながら待つ中、ハットする程色鮮やかなチマチョゴリ、それも大邱の方々とは色違いで、又ソウルの方々は全員お揃いで、見事な民族衣装を身に纏って入って来られました。

森田メネット事業主査の挨拶から始まり、その後一曲づつ素晴らしいコーラスを聞かせて戴きました。

お食事を頂きながら和やかな交わりが持たれ、日本語の少しお出来になる方も英語を交えながら、ただ笑顔だけでも温かい交歓が出来ました。Ⅱ部では野火の会による和太鼓と笛の迫力溢れる演奏や、民謡や踊りもあり、アマチュアとは言えない位で、中々のものでした。

お忙しいスケジュールで、余り時間がなくて残念でしたが、最後にプレゼントの交換があり、翌日の演奏会を楽しみにしてお送りしました。平和のときを感謝し乍ら隣国の方達との文化交流を進め、お互いに友情を深め大切にして行きたいものだと思います。

## ハワイを思うとき

福永 嘉彦

今年もハワイのマキキ聖城教会から、黒田牧師を初め13名の兄弟姉妹をお迎えして、私は主にある交わりの時を持つことが出来た。一行の中に居られたこの教会の看板娘と言われる、今年92歳になるおばあさんは、私がハワイ在住中、とても親しくして下さっていた時と変わらぬ明るい元気な姿で、「私は、いつもイエス様と一緒にですよ」と証をして下さり、嘗て一緒に歌った賛美歌を賛美出来た事は、誠に感慨無量なものがあった。

この教会は、1888年日本基督教団大阪教会で受洗された奥村喜多衛先生が、伝道の情熱を燃やされて渡布マキキ地方を中心に福音を広められ、1903年に創立されたもので、今日迄永年に亘って日系人を初め多くの信者を育て上げて来たのである。ハワイの日系の方々には信仰面のみならず、日常生活に於ても警えようのない純粹さを持っておられ、教えられる所は誠に大きくかつ貴重なものがある。

嘗て日本から遣わされた一伝道師が築かれた、太平洋の真中のこの教会から、今や全世界に伝道の戦士が送り出されているのである。

ハワイに思いを馳せる時、又、ヌアヌ・クラブとの交わりにおいても、いつもこれらの事が真先に強く迫って来るのを覚え、考えさせられるものがある。

## 8月の香港トライアングル いよいよ実現へ

谷川 寛

香港ボヒニア・クラブからのレター到着。

8月3日(土)大阪センテナル、ハワイ・ヌアヌとトライアングルの集いを香港で行う事をクラブの役員会も正式に了承したので、皆さんのご来港をお待ちする旨伝えて参りました。香港側の行事は3日午後、香港ハーバークルーズ又はミニ観光ツアーの何れかで始まり夕食会で終るというプログラムを提案して来ています。

又、私達一行の到着を空港で出迎えるので、日程表を送って欲しいとも言っています。一方、ハワイ・ヌアヌからの連絡で、ハワイチームは6名で、8月3日(土)の香港側の招待を受けて、8月4日(日)の昼食を大阪センテナルとハワイ・ヌアヌが合同してホストする事を提案して来ています。一行は香港訪問の後、韓国ソウルを経て8月10日(土)に来阪します。

京都での国際大会の折に、京都の都ホテルで三クラブが集まりましたが、それ以来のトライアングルが香港で実現することになります。京都では、ハワイと香港の出席者が少数でしたが、今度は全体で40名を越えるという大きな集いになるでしょう。香港は1997年の中国への返還を控えて慌ただしさを増す中で私達を歓迎してくれる事になります。

きっと意義深い集りになるでしょう。

乞ご期待!

## 香港ボヒニアから感謝状

IBC 谷川 寛

香港ワイズ恒例の“YMCA CHARITY FUND RAISING BALL”の為に、私達のブラザー(シスター)ボヒニア・クラブ宛にUS \$200.00のドネーションを行いました。

小切手は、3月にバンコックで開催されたアジアYMCA指導者会議に出席の途中に立寄って、私が間接的にはありましたが、他のワイズメンを通じお渡し致しました。三クラブ合同の集会の件を含めた今回のレターは、私達の寄付を間違いなく受取り心からの謝意を表しておられます。

ご報告させていただきます。

## 6月第2例会

日時: 1991年6月26日(水) 6:30 ~ 8:30 p.m

会場: YMCA国際社会奉仕センター

## 最新香港事情

谷川 寛

香港でのトライアングルの集いが、いよいよ8月実現の運びとなりましたが、やはり最近の香港の実情を皆が理解して訪問する事が必要なようです。

1997年には香港がイギリスの統治を離れて、中国に返還される事を誰もが知っています。1997年迄はまだ後5年もあると言ってしまうとそれまでの話ですが実際に香港の人の心情は大変複雑です。

長い植民地時代が終り、民族として同一の中国と一緒にになれるのですから、本来ならばもっともっと喜んで良いはずですが。しかし一緒にいる相手が中国本土となると、体制の違いから初まるいろいろな気がかりから、そんなに素直には喜べないと言った所です。

香港には今、ASTOR NAUT (宇宙飛行士) と呼ばれている人達がたくさん居ます。家族を海の彼方(主としてカナダ、米国、豪州)に住ませ、自分だけ香港に残って働いている男性を指してこう言うのですが単身赴任ならぬ単身残留者と言う訳です。97年以降の香港に自由はあるか?と言う不安から家族を一足先に避難させたグループです。しかし、仕事の基盤は香港にあり、出来る限り香港に居残ろうと言うものです。

私達のブラザー:ボヒニアでも(これと同じではありませんが)例えば前回皆で訪港した時の Winnie Lan Fan 会長は、家族全員米国 N.J. に移住されています。京都での国際大会時の会長の Peggy Shum さんは、カナダのトロントへ移住されました。

彼女とは、ミネアポリスでの国際大会で再会出来る筈だったのが結局会えず仕舞で終わったのですが、私たちのブラザークラブ関係には常に強い関心を持ち、心に留めてくれています。

さて、現会長の Linda Chan さんのご主人は歯科医で、Dental Clinic を経営されていますが目下サウディアラビアに働きに行き居られ、その間、奥さんの Linda さんが Clinic を切り回して居られ、大変忙しい毎日をご過ごされています。

彼女だけでなく、ボヒニアのメンバーは大半が単なる主婦ではない、職業を持ってアクティブに活動しているご婦人が多いことがボヒニアの特徴でもあります。

彼女達は、意識、所得ともレベルが高く、社会階層としては中産階級以上と言えます。それだけに、来たるべき1997年の事態についてはよくよく考え、そしてイザという時の為にはちゃんと手を打っている人々です。

しかし、生活のペースが飽くまでも長年住んで来た香港にある以上、1997年に関しては、私達日本人が想像出来ないやるせない思いを抱いている事を理解する必要があるのであります。

## ハワイのブラザー:

ヌアナ・クラブ訪問 谷川 寛

私達家族は3人で、ゴールデンウィークを利用して、ハワイを訪問しました。かなり以前から L. HIRANAKA 夫妻に連絡しておきましたので、NUANU のメンバーが大歓迎してくれました。日中皆でアテンドして下さい上、初日の夕は M. SHIMONISHI 夫妻の夕食、二日目 S. WONG 夫妻及び R. KAWAHARA の夕食、三日目には L. HIRANAKA 氏邸にてクラブのメンバー及び私達の知っている他のクラブのメンバー夫妻による POT LUCK DINNER 四日目は NUANU YMCA での NUANU ワイズの BUSINESS MEETING 及び有志 HOST の夕食と、大層楽しい毎晩でした。

さてこの8月、香港トライアングルミーティングの後10日頃6人の NUANU メンバーが大阪を訪れます。

4~5日滞在され、宿泊は梅田の阪急ホテルの予定ですが、一泊だけホームステイの希望があります。

当クラブとしては是非ご検討頂くようお願い致します。

なお、GLENN MATSUKAWA 会長を初め、皆さん方から頂いた当クラブ宛の沢山のプレゼントを、次の例会でご披露致す所存です。

## 国際ワイズメンクラブ アジア大会

とき : 1991年9月27日~29日  
ところ : 台湾・高雄市 圓山大飯店  
主題 : 「Better Asia, Better World.」  
参加ご希望の方は、当クラブ会長まで、なるべく6月中にお申出下さい。

## 1991年5月BF報告

	現金	切手	
5月	0	600 Pt.	5月の切手提供者 秋月君、足立君、杉浦君
累計	0	4,800 Pt.	鈴木君、佐藤君、黒田君 山田君、山村君

※ 4月末、現金 150,000 Pt. を送金しました。  
現金ポイントも、又新しいスタートです。

編集後記 : 来月から担当させて頂く実習にと、黒田さんが集めて下さった原稿を、黒田さんのご指示の通りにと打ってみました。... 秋月生